

さつま議会だより

平成29年11月2日発行

No.51



補正予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2P
条例等の概要・その他議案・・・・・・・・	4P
常任委員会審査の概要・・・・・・・・・・	5P
一般質問（5人）・陳情・・・・・・・・・・	7P
議会活動、編集後記・・・・・・・・・・・・・	10P

杵野区「ひがん花祭り」を盛り上げました・・・(9月23日撮影)

平成29年第3回(9月)定例会は、9月7日から9月29日までの23日間の会期で開かれました。
条例の制定・改正、各会計の補正予算などを慎重に審議し、提案された議案すべてを可決しました。

9月定例会のあらまし

《表紙紹介》柗野区「ひがん花祭り」

19回目を迎えた柗野区の一大会イベントでは、平成28年度に統合再編された柏原小学校の5年生16人が、柗野区内の史跡について来場者への説明を行いました。

◆平成29年度9月補正◆

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	3億2,819万円	135億7,768万円
介護保険事業特別会計	1億1,078万円	34億4,815万円
上 水 道 事 業 会 計	679万円	6億650万円

※金額は千円単位を四捨五入

※一般会計は第2号補正及び衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査に伴う第3号補正までの合計額

※介護保険事業特別会計は第2号補正額

※上水道事業会計は第2号補正額

補正予算

～今後の事業展開を探る～

防犯カメラ設置工事請負費

(総務課)

392万円

総務管理費の交通防災

費には、宮之城屋地地区及び虎居地区への防犯カメラ設置に要する工事請負費として392万円が計上されています。

近年、各種の犯罪の予防や、被疑者等の把握に効果が期待され、警察署から設置について要請がなされているものです。

■質疑■

一般的な防犯カメラとの説明であるが、学校との協議は行っているのか
□回答□

一般的な町民の危機管理上の問題からの設置であり、警察や防犯協会とは連携しなければならぬことから協議を行っているが、学校との具体的な協議については現時点で行っていない。

放課後児童健全育成事業費 委託料(子ども支援課) 86万円

学童保育の開設に伴い、特別支援学級の児童の利用登録があり、国・県事業の障害児受け入れ推進事業に該当することから、支援員を10月から1名増員し、事業を進めるものです。小学校では9校の19クラスに64名、町全体では、82名の児童・生徒が特別支援学級に在籍しています。



山崎学童クラブを運営する山崎保育所

全国和牛能力共進会出品対策 事業補助（農政課） 55万円

■質疑■
本年9月に開催された第11回全国和牛能力共進会において、鹿児島県が総合1位の団体賞を獲得しています。今回、県の新規事業として、5年後の鹿児島県開催に向けての優良な肉用雌子牛の導入経費の一部助成金45万円と出品条件や審査基準に対応した肥育技術の実証に取り組む経費の一部助成金10万円になります。

■質疑■
本町には雌牛9頭、肥育牛4頭の割り当てとなっているが、産地自治体の独自の支援策は。

□回答□
現段階において、他地区における自治体独自の助成内容等の情報は入っていないが、独自の支援策については、今後、検討する必要がある。

農道等維持管理費工事請負費 （耕地林業課） 1500万円

広域農道の内、県道鶴田定之段線との交差点から町道狩宿中央鶴田ダム線までを本町で管理しています。
今回の路面補修箇所は全て鶴田地区内の広域農道で、舗装改修400mと区画線等の補修を行うものです。



区画線等の補修が行われる広域農道

鶴田ダム周辺公園等管理費業務委託料 （商工観光課） 200万円

物産観光施設費の鶴田ダム周辺公園等管理費には、ダム公園内の倒木した桜の木やその他の支障木の伐採委託料200万円が計上されています。
鶴田ダム公園からの眺望が良くなるように概ね30本から40本程度を伐採するもので、伐採後の搬出と処分料までを含んでいます。



鶴田ダム公園内の支障木の状況

移住定住促進事業費備品購入費 （企業誘致対策室） 15万円

移住促進交流施設のさつま体験宿（ハウス）にはリビングのみにエアコンが付いており、寝室に当たる和室に付いていないことから、今回新たに1階・2階の和室に設置するエアコン2台を購入するものです。

■質疑■
さつま体験宿の利用状況と定住への成果は。

□回答□
8月末現在の利用者数は21人で59泊の利用実績となっている。成果については、将来、本町での就農を希望される方1名ともう1組は紫尾温泉を気に入り、紫尾の空き家も見られた結果、大変好意を示されたが、しばらく検討させてほしいとのことである。

公園管理費 工事請負費 （建設課） 3201万円

公園費の公園管理費には、駐車場整備に係る工事請負費として3201万円が計上されています。
2020年に開催される鹿児島国体及び各種大会時に使用するため、かぐや姫グラウンド西側に160台駐車可能な駐車場を整備するものです。



現地調査を行う文教経済常任委員

宮之城武道館管理費一般需用費 （社会教育課） 290万円

宮之城武道館は、昭和53年建築で、築38年が経過していることから、内壁の全面補修が計画されています。武道館内壁の高さが約4mあることから、足場を組み、耐水ベニヤを貼り塗装を行い、また、ガラスも一部破損していることから、併せて補修するものです。



宮之城武道館の内壁の状況

条例等

～我が町の法規を探る～

川内川大鶴ゆうゆう館 館条例の制定

現行の大鶴ゆうゆう館は、平成4年に「県単むらづくり事業」を活用して建築されました。

今回、鶴田ダム及び川内川流域に関する治水と防災の歴史などの各種資料や発電に関する資料の展示並びに地域住民の憩いの場、観光の振興を図ることを目的として移転新築されることから、同施設の管理条例として新たに制定するものです。

奨学資金貸付基金 条例の一部改正

進学に伴う保護者の経済的負担軽減と本町の将来を担う有為な人材を育成・確保するため、平成30年度の新規貸付者分から、奨学資金貸付制度の拡充及び返済に対する支援制度の創設に伴う新規貸付者の需要増に対応するもので、基金の額を600万円以内から7000万円以内に改めるものです。

子ども医療費助成 条例の一部改正

未来を担う子ども達を産み育てやすい、子育て環境の充実を図るため、子どもに係る医療費の助成対象を、中学校の教育課程を修了するまでの間にある者から、18歳に到達する日以後の最初の3月31日までにある者（配偶者がある者は除く）まで拡充して保護者の経済的負担軽減を図ろうとするものです。

観光公園条例の 一部改正

島津家墓所の国の文化財指定に向けた取り組みに伴い、宗功寺公園用地として島津家墓所の一部の寄附申込みがあった地番を加えるものです。

■質疑■

国指定の史跡として認定を受けることで、本町にどれだけのメリットがあるのか。

□回答□

国指定の史跡に認定されることで史跡の保存に対する経費が助成される。

また、観光パンフレット等に国指定の史跡として掲載できることで、宣伝効果は大きいと考えている。



宗功寺公園の島津家墓石群

《その他の議案》

介護保険事業特別会 計補正予算(第2号)

一般会計繰出金及び償還金並びにその他所要の経費を補正するもので、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1078万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を34億4815万4千円とするものです。

上水道事業会計 補正予算(第2号)

今回の補正額は679万円で、今年になって漏水が多発した佐志区滝ノ下地区の水道管300mを耐震性、弾力性の機能を有しているポリエチレン管に入れ替えと現在保有している漏水探知機2台の内、老朽化し修理不能な1台を更新するものです。

■質疑■

漏水件数の現状は。

□回答□

平成28年度の決算ベースでは、上水道区域で29

件、第2上水道区域で14件の合計で43件となっている。



現在使用中の漏水探知機

一般会計補正予算 (第3号)

衆議院議員選挙費に要する経費及び最高裁判所国民審査並びにその他所要の経費を補正するため、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1237万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を135億7768万4千円とするものです。

平成28年度健全化 判断比率の報告

平成28年度資金不 足比率の報告

※2件の報告は、いずれも報告済

人権擁護委員候補者の推薦



富満智恵子氏(51歳)

【紫尾】

任期(新任)

平成29年10月1日

～平成32年9月30日

任期満了に伴う新たな副町長の選任を同意

本定例会最終日に提案され、議長及び欠席議員1名を除く14名の議員により無記名投票による採決が行われ、賛成者11名で同意されました。



上野 俊市氏(55歳)

【虎居】

任期(新任)

平成29年10月3日

～平成33年10月2日

常任委員会審査

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載してあります

総務厚生常任委員会

報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

外国人青年英語指導助手を派遣しているJETプログラム（外国人青年英語指導助手の報酬額の見直しにより、3年目以降の報酬額が、本条例の規定を上回ることから改正するものです。

■質疑■

小学校から英語の授業時数が増えているため、現在の2名体制を増員し充実した英語教育を実施していく計画はないか。

□回答□

現在小学校5・6年生は週2時間、小学校3・4年生は外国語活動として、週1時間実施しているところである。

英語については学習指導要領の重要改善点となっており、課内において現在検討中である。

■質疑■

外国人青年英語指導助手の月額報酬額を30万円から33万円以内に改正する内容であるが、派遣年数が3年を超えた外国人英語指導助手がこれまでにいたのか。

□回答□

これまでも3年を超えて勤務をした外国人英語指導助手はいるが、国のJETプログラム（外国人青年派遣事業）運用指針の改正があり、改正前は月額30万円であったが任用年数に従い、1年目28万円、2年目30万円、3年目32万5千円、4年目と5年目が33万円となり、経験年数に従って少しずつ上乗せをしていく形になった。今回3年目を迎えた2人が、改正後の最初の対象となる。



外国人青年英語指導助手の授業状況

子ども医療費助成条例の一部改正

■質疑■

子ども医療費助成の県内の状況は。

□回答□

中学校の教育課程を修了するまでの自治体が23団体、今回の改正による18歳に到達する日以後の最初の3月31日までにいる者（配偶者がある者は除く）までを助成する自治体は、本町を含めて14団体である。

一般会計補正予算（第2号）

■質疑■

防犯カメラの設置に関して、計画的に増設を行う考えはないか。

□町長答弁□

今回、防犯カメラ2台の設置を予定している宮之城屋地地区・虎居地区では、各種の犯罪防止や被疑者等の把握に効果が見込まれるものである。

また、本町の場合、高齢化社会を反映して、徘徊者等の行方不明事件等が多発傾向にあることから、早期発見に繋がるものと期待される。

なお、今後の計画的な設置については、今回の設置効果を分析しながら警察や防犯協会、学校との連携を図りながら必要な箇所への設置を検討したい。

■質疑■

保健衛生総務費の北薩3市2町医療体制確保推進協議会への負担金は、陳情活動による広域的な産科医・助産師等の確保と周産期医療の医師・助産師等も含めての支援とあるが、周産期医療がメインなのか。

□回答□

周産期医療の医師・助産師等も含めて支援すること、この地区に医師を確保しようとするのがメインである。

北薩3市2町には5つの民間病院等があるが、医師が高齢で後継者がいない状況である。

また、一人で年間500人ほどの分娩を受けているなど過酷な現状もあることから、この現状を打開するために協議会を設けたところである。

文教経済常任委員会

川内川大鶴ゆうゆう館条例の制定

■質疑■

施設の名称に川内川を加えることの論議がなされたが、鶴田ダム周辺を拠点とした本町の観光振興をどのように考えているか。

□回答□

今回の条例制定では、設置目的が大きく変わった点で、川内川流域全体の展示室も今回初めて設けられたところである。対外的にも川内川を加えることで観光施設としての宣伝効果も上がると考えている。

■質疑■

土産物の販売、午前9時から午後6時までとする開館時間の夏場の延長はできないか。

□回答□

現時点で土産物の販売は予定していないが、需要が見込める場合は関係

者と協議したい。開館時間の延長については、指定管理者と慎重に協議していきたい。



現地調査を行う委員

奨学資金貸付基金条例の一部改正

■質疑■

県育英財団の奨学資金の所得制限より1.2倍拡大しているが、具体的な所得額の基準は。

□回答□

標準的な4人世帯の家庭の場合で、鹿児島県育英財団は206万円を基準としているが、本町の

場合は、その額を1.2倍した247万2000円が基準になる。

紫尾山ふれあいの森等条例の一部改正

■質疑■

紫尾山ふれあいの森施設が耐用年数24年を経過したことから、国・県などの関係機関との協議により当該施設を廃止処分する改正内容であるが、現存するさらの里キャンプ場も休止状態にあることから今後の方向性は。

□回答□

平成3年4月に設置された紫尾山ふれあいの森が、平成18年の鹿児島県北部豪雨により連絡道路が被災したこと等による廃止である。さらの里キャンプ場については、平成33年3月末で耐用年数に達することから、その後廃止の手続きを進める計画である。

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正

■質疑■

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正及び農村地域工業等導入実施計画の変更に伴う改正内容であるが、薩摩工業団地は、いつの時点で削る必要があったのか。

□回答□

薩摩工業団地については、農村地域工業等導入実施計画の変更に伴うもので、平成26年2月の農村地域工業等導入促進審議会において協議が行われ、最終的には国への届出が平成26年3月末に終了したものである。

一般会計補正予算（第2号）

■質疑■

かぐや姫グラウンド西側の駐車場の整備面積と駐車可能台数の総数は。

□回答□

整備用地は民有地を購入したもので、面積は9289㎡であるが、法面等があることから、有効面積としては5170㎡である。

今回、造成を行い来年度に舗装を行うもので、駐車可能台数を160台で計画しており、今回の整備を含めるとグラウンド周辺の駐車場は3カ所となり、駐車可能総台数は420台となる予定である。

■質疑■

町道支障木伐採業務委託料を500万円計上しているが、今回の補正額で各公民会からの要望に対応できるのか。

□回答□

支障木伐採で上がってくる要望は相当数あり、公民会等で伐採できない箇所が数多く残っている状況にある。現在、作業班も10人体制で伐採の計画をしているが、要望へ十分に対応しきれないことから、緊急性を要する箇所について業者への委託料を計上したところである。

◆要請◆

相当数の要望がある中で、対応しきれないと思うが、町民も支障をきたしている場所もあると思われる。町道支障木の伐採に当たっては、今後業者への委託ができるように継続的な予算の確保を要請する。



現地調査を行う委員

一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載してあります。

防災対策

災害避難体制の充実を

町長／適宜適切な対応を図る



上久保 澄雄議員

上久保

分かりやすい避難場所の表示、災害時要援護者の支援の充実、食料・生活用品等の供給システムなど内容の充実を図るべきでは。

町長

避難場所の表示のあり方等については、関係法の改正内容も含め見直しを進める。災害時要援護者は、福祉避難所の活用と同時に民間の特老等福祉関連施設の協力を得るべく協議を進めている。食料等の供給については、大型店との応援協定締結等供給体制を進める。



小さく表示された「洪水時避難所」の表示状況（湯田いきいき研修館）

最終処分場に対する考えは

町長／最終処分場は受け入れない

上久保

高レベル放射性物質の最終処分場適地の公表に対する考えと原発事故発生時における避難生活の維持確保のための推進策を伺う。

町長

関係市町村の協力や県内広域からの支援、更には国県の支援体制が整っている。高レベル放射性廃棄物の処分場適地の公表については、科学的根拠不足との指摘等もあるようだが、本町へ処分場を受け入れる考えは持っていない。

財政対策

主要な財源確保対策は

町長／自主財源確保に努める



川口 憲男議員

川口

①人口減による自主財源・地方交付税の減少で財政が厳しい状況にあるが、町税や交付税など、主要な財源対策は。

②自主財源対策として、地域の元気高齢者が持つ能力を活用するなど、今一度、地域の資源等を活かした施策に取り組む考えは。

町長

①事務事業評価の体制をもう一段階引き上げ、行政改革の徹底や効率的かつ効果的な行政運営の推進について、外部評価



高齢者等の生きがいづくりに繋がっている農産物等の販売状況（完売が表示されたつるだ特産品販売所「自慢館」）

委員会を設置するなど事業の更なる見直しを進め「質の高い行政サービス」の町」を目指すための新たな事業に係る財源を捻出する体制の構築を図る必要があると考える。

②少子高齢化や人口減少にあつて地域での高齢者の果す役割は、地域活動・福祉活動の面からも大変重要。高齢者が自立し活力ある社会の実現に向けて、活躍できる場の創出・支援に積極的に取り組むたい。

行政推進員等の報酬増額は

町長／来年度から実施の検討



上園 一行議員

上園

現在、行政推進員の20区の公民館長及び行政連絡員の133公民会の会長に対し、報酬が支払われているが、館長及び会長の業務も多くなり、特に館長においては、年間200日以上務めている状態である。

人口・世帯数ともに少なくなる中で、住民の方に区費や公民会費の増額負担を願うには厳しい現状にあることから、報酬を増額する考えはないか伺う。

町長

地区行政推進員の報酬額については、合併の際、見直しを行ってから以後、これまで大きな見直しを行っていないところである。また世帯数の減少などにより、報酬額が減少してきている。すでに地区行政推進員の報酬額の見直しについては、区公民館の運営や人的支援を含め、関係課へ十分検討・協議するよう指示している。区公民館に関することは来年度からの実施を目指し、また、公民会に関することは引き続き検証を行いながら検討を進める。



平成29年度地区行政推進員・公民会行政連絡員研修会の様子

公共施設

公共施設のあり方は

町長／個別施設計画を策定する



田野 光彦議員

田野

合併により保有することになった公共施設の中で、活用が不十分な施設が存在している。次の2点について具体的な取り組みを伺う。

①各施設の管理計画の中で未策定の部分が多いが、今後のあり方は。

②廃校となっている小学校の活用策は。

町長

各施設は設置目的に沿って適正な維持管理・運営に努めてきている。今回策定した「公共施設等総合管理計画」において、施設の複合化・集約化・廃止・統廃合を基本として、個別施設計画を早期に策定する。

①平成30年度中に施設ごとのヒアリングを行い、



平成18年県北部豪雨災害による休止状態から今定例会において、廃止処分施設となった「紫尾山ふれあいの森」施設の現状

町としての最終的な方向性を示したい。

②今年度末までに、地域の区公民館に跡地等活用の方角性を取りまとめたいただくよう依頼しているところである。

提出された企画書や要望をもとに地元と連携して活用策を検討したい。

秋葉グラウンドのプール跡地対策は

町長／早い時期に解体整地を進めたい



三浦 広幸議員

三浦

宮之城中心市街地部の秋葉グラウンド西側プール跡地は、侵入防止柵が一部腐敗して、容易に入りができ、管理責任が問われる危険な状況である。環境対策や民間活用による定住対策など地域活性化を図る跡地対策について伺う。

町長

旧プールは、昭和30年に50m公認プールとして竣工しているが、経年劣化によるコンクリートの



秋葉グラウンド内の50m公認プールの現状

剥離・ひび割れの発生もあり、平成12年5月に用途廃止した。防火用水としての活用も地下埋設貯水槽が平成22年に建設されて、その役目を終えている。

秋葉グラウンドは、中心市街地部に近い広場で、災害時の避難場所や仮設住宅建設として利用できることから、早い時期に解体整地を進めたいと考えているが、現時点では広場として活用したい。

どうなった!!あなたの請願・陳情

1件の陳情を審査しました

採 択

安定ヨウ素剤の希望者への事前配布計画を求める陳情

◎陳情者

・さつま町中津川3944

川内原発30キロ圏住民ネットワークさつま町

若松 静美

◇意見書

本陳情については、陳情の趣旨を「了」として、全会一致で「採択とすべきもの」と決定し、次の3項目に関する意見書を鹿児島県知事へ送付しました。

- 一、県が設置した「原子力安全・避難計画等防災専門委員会」において、安定ヨウ素剤の事前配布について協議すること。
- 二、さつま町民の希望者全員へ安定ヨウ素剤を事前配布するための安定ヨウ素剤事前配布計画を策定すること。
- 三、医師不足に苦慮しているさつま町の現状を踏まえ、事前配布の体制は県主導で構築すること。

全国森林環境税の創設に関する意見書を提出

◎陳情者 ・新潟県村上市三之町1番1号

全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣一徳

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情は、平成29年8月9日に受理され、提出者が町民等以外であることから、常任委員会への審査付託は行わないとする陳情書の取り扱いに従い、その写しが議員各位に配付されました。

議会運営委員会において本陳情書の取り扱いを協議した結果、陳情の趣旨を「了」とし、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取り組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題であるとして、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を求める意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に送付し、その実現を要請しました。

議会活動



中種子町議会運営委員会による「議会運営について」の行政視察を受入れました。(H29.8.18)



佐賀県吉野ヶ里町議会運営委員会による「議会改革の取り組みについて」の行政視察を受入れました。(H29.8.24)



長島町・湧水町・さつま町による3町議会議員研修会が湧水町にて開催され、県町村議会議長会の三原事務局次長による「決算の認定について」の研修と湧水町内の現地視察が行われました。(H29.8.25)



第12回 国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会による現地調査(広瀬道路)と同期会合の総会が本町において開催され、国道504号の整備促進と道路財源の確保についての決議が採択されました。(H29.10.20)



編集後記

異常気象の現実を体感する酷暑の日々を過ごす中で、台風の来ても幾度となく心配されましたが、幸いにもさつま町は大過なく季節が移り、秋もたけなわとなりました。

9月の町議会は補正予算に続き、平成28年度決算の振り返りの作業を終え、現在、閉会中の継続調査の段階に入っております。

今後、さらに住みよい豊かで温かい空気のみなざるさつま町のまちづくりのために、議会と町民の皆さまとの協働の姿を創出したいものと心から願っております。明るい未来に向け、町民の皆さまと共に「一歩前へ！」を胸に前進の歩みを続けてまいりましょう！

町民の皆さまには、くれぐれも健康に留意してお過ごしくださいよう祈念いたします。

(田野)

議会広報特別委員会

委員長 米丸文彦
副委員長 田光彦
委員 上野一幸
委員 三浦広幸